

## 第4回香川県大阪・関西万博推進協議会 議事録

令和6年10月4日(金)11:00~12:10

香川県庁本館 21階特別会議室

### ○ 事務局（政策課長）

ただいまより、第4回香川県大阪・関西万博推進協議会を開催いたします。  
開会にあたりまして、本協議会会長の池田知事より御挨拶を申し上げます。

### ○ 池田知事

本日はお忙しいところ、香川県大阪・関西万博推進協議会にお集まりいただき、本当にありがとうございます。万博開幕まで、いよいよ半年になってまいりました。

今日も博覧会協会から、堺井局長においでいただきまして、最新の準備状況などについてお話いただきます。

報道などで皆様ご存知とも思いますが、会場の整備も進み、いよいよ開幕近いという思いを強くしているところでございます。

事務局から説明させていただきますが、おかげさまで香川県の催事についても、協会にはご配慮いただいて、来年4月30日から5月3日というゴールデンウィークの一番いい期間で実施を予定しており、そこで展示ができるということですので、しっかりこのスペースを生かして、多くの方に、香川の魅力の発信をしたいと思っております。

それからもう一度、閉幕間際の盛り上がりが高まる時期かと思っておりますが、9月26日から29日まで、香川県の財産である、瀬戸内海をPRする内容を考えていますが、テーマウィークにも出展する期間を設けていただくことができました。この2度のチャンスをしっかりと活かしたいと思っております。

皆様方には、これまでもこの点について様々なご協力をいただいておりますが、来年の出展に向けまして、さらなるご協力をいただければと思っております。

それから、やはり今回、大阪・関西万博で大阪に、そして関西に全国から、世界から多くの方が訪れるということになります。間違いなく、いつもよりまして多くの方がこの時期に訪れますので、この機会に西日本全般、そしてこの香川に目が向けられるチャンスが増えるということでもあります。瀬戸内国際芸術祭との連携もあります。

この期に来てもらうということも、大事であり、大阪への目が向く様々なチャンスに、プラスアルファで瀬戸内に、そして香川にも向けてもらえるよう、それぞれの立場で、また、様々な取組みの切り口があるかと思っております。開幕まであと半年になりましたが、これから取り組んでいくことができるもの、また、すでに取り組んでいることの実施、ぜひ引き続きのご協力ご尽力をお願い申し上げ、ご挨拶にさせていただきます。

### ○ 事務局（政策課長）

続きまして、第3回の協議会以降、人事異動などによる交代がございましたので、新たに会員にご就任いただいた方をご紹介します。

一般社団法人香川経済同友会 代表幹事の松村様です。

四国経済連合会 会長の長井様です。

また、前回の協議会から引き続き、本日も 2025 年日本国際博覧会協会の堺井局長様に参加いただいております。

それでは、議事に移りたいと思いますが、以降の議事進行は会長の池田知事をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ○ 池田知事

それでは、堺井局長より、最近の準備状況等、最新情報の御説明をお願いします。

## ○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

資料 1 をご覧ください。先ほど知事からもお話ありましたとおり、10 月 13 日には開幕半年前ということになりまして、6 日の日曜日は超早割のチケットの発売最終日となっています。超早割は 1 日券が 6,000 円で買うことができますことになっています。

通常価格 7,500 円なので、1,500 円安く買えるという形になります。

子どもたちも、4 分の 1 の値段で買えますが、いよいよそうした時期になってまいりました。

そして、10 月 13 日には、半年前なので入場日予約ができるようになります。

つまり、どの日に、どういうイベントがあり、そのイベントに向けてチケットを買いここうという、入場予約が始まるのが 10 月 13 日になります。

あわせてパビリオンの予約も始まるということで、いよいよスタートしていくということでございます。

協会としても、10 月 13 日には、全国的に PR 展開をしていくということを予定しています。

もちろん、10 月 13 日のみならず、それぞれの節目をターゲットにしながら、どんどん重層的に展開する方向です。

続いて、資料 3 ページ目、会場建設の様子が見て取れます。

ちょうど大屋根リング、世界最大級の木造建築、これが完成しました。

1 周 2 キロで、高さが内側 12 メートル、外側 20 メートルになっていて、上には人が約 2 万人乗ることができる、そんな構造物になっています。

ちょうどそこから海の方を見ますと、神戸六甲山の方が見えたり、瀬戸内海の明石海峡大橋や淡路島が見えるロケーションで、また、関西国際空港を見ることができるような場所になります。

このリングの内側に、各国のパビリオン、8 名のプロデューサーのシグネチャーパビリオンが配置されます。

真ん中には静けさの森があり、その周囲にシグネチャーパビリオンが、さらにそれを取り囲む形で各国のパビリオンが並ぶという形になります。

リングの外側には、日本館や、大阪パビリオン、関西パビリオン、企業パビリオンが並びます。

13の企業パビリオンは、随分建設の様子が見えてきています。これは9月20日の撮影のものですが、こういう形で建物がどんどんどんどん建ってきているというのが現状です。

リングの外側には、このパビリオンとともに、EXPOホールなどイベントをする会場をあちこちに展開いたします。

右奥の方にはEXPOアリーナ「Matsuri」という名称がつけましたが、1万人規模の入場ができ、その右側あたりに空飛ぶクルマの発着場があり、その間には未来社会を体験できるゾーンがあるという形で、バスの西ゲートの近くであり、バス利用者来場者の一つの核となるよう配置しています。

4ページ目、リングが1つになり、繋がりましたということでここにマスコミの報道人に入っていたり、あるいは見学者に入っていたり、また抽選で月に1度、一般の方に入ってもらいたいというような形をとっていますが、リングの上にとると、万博というものがすごい規模であり、期待を集めていいんだなというのがわかる、そんな形になっています。

リングにはエレベーターやエスカレーターがあり、屋上緑化をするというような形で、建物躯体ができ、これからどんどん広がっていきます。

5ページ目、161ヶ国と9つの国際機関、彼らにパビリオンを出していただけます。

6ページ目には、どの国がどこに出展するのが発表されています。

単独館があってもまた共同館があるという、そういった仕組みですが、このような形で配置がなされます。

博覧会協会のホームページで、各国パビリオンがどのようなものなのかというのを、写真や絵で紹介していたり、コンセプトなどを紹介したり、場合によって動画でも紹介していて、どんどん見ることができます。

各国はパビリオンを建設するだけでなく、イベントも実施しますので、そのイベントのスケジュールについても発表がなされているところです。

9月初頭に各国のナショナルデーが発表されました。そしてまたそれに、限らない単独のイベントも開催されます。

14ページ目、各国の後は先ほどのテーマ事業プロデューサー8人のパビリオンが並びます。そして民間のパビリオンが13並びます。後に日本館、大阪パビリオン関西パビリオン、ウーマンズパビリオンという形で展開がなされます。

23ページ目以降、イベントについては、施設の様子が書いていますが、イベントカレンダーを公表していて、随時見ていただけます。香川県のイベントもここに入ってくるところです。

協会が自分たちで実施する催事というの、展開しています。

資料27ページですが、毎日夜になると実施するOne World, One Planet. という、これは仮称ですが、音響や映像装置で、会場内が1つになっていくというのを、やっています。

また、Physical Twin Symphonyという名称ですが、EXPOホールで開幕から8日間、オープニングプログラムとして、人とテクノロジーが共創する実験的ライブエンタ

ーテイメントという形で展開されます。

28 ページ目、これは毎日展開しますが、リングの中側で海の方角だったところのウォータープラザで、水、空気、光、炎の映像そして音楽が織りなす水上ショーが展開されます。

協賛企業の取組みで、観客席があり、飲食しながら見られるという場合もあります。

29 ページ目では、ナショナルデー・スペシャルデーについて記載、30 ページ目ではオープニングスペシャルライブで Ado さんのスペシャルライブの発表を取り上げています。

31 ページ目以降で、海外の国のイベントもずらり並んでおります。

34 ページ目以降で国内の自治体のイベントはじめ、様々なものが展開されて参ります。その1例を示しています。

37 ページ目以降、入場のチケットについて、紙のチケットの展開も決まりました。

ただし、入場できない日も設定するという形での展開となります。

そういう形で様々なニーズに応えるようなチケット販売も展開をしているところです。

45 ページ目以降、観光のポータルサイトも件数が増えてきています。

今年の4月4日から公開して、もうすでに使えるようになっていますが、各地の体験型の旅行商品などを載せていただいて、それを購入いただくというものです。

協会を考えているのが、特にインバウンドの方角に5ヶ国語で展開するということをして、入場日予約の前後などで、あわせてこういう旅をしてみたいというときに予約をしていただけるような、そんなことが展開されるといいなと思っています。

47 ページで申請状況ということで、総件数 374 件が登録されている中で、香川県からも 22 件申請をいただいています。

登録は無料でできますので、どんどん登録していただければと思っています。

協会もそれを精一杯展開・周知するために、J N T O (日本政府観光局) や各 D M O、国土交通省、観光庁などとも連携をしながら P R に努めております。

そういう形で博覧会協会としては、開幕に向けて、ラストスパートという形で、協会 800 人体制で取り組んでいます。

2,820 万人の来場予定で、1 日 20 万人来られる想定もあります。海に囲まれた会場というのはいいのですが、交通手段が限られる中で、いかに円滑に運営するかということに注力しています。

また、今年もそうですが暑い日が続き、10 月の今の時期でまだ 30 度ぐらいあるという状況で、来年もこの 10 月 13 日まで万博を実施しますので、暑さ対策など様々なところで、お客さんが安全に安心して楽しんでいただけるような環境を作るために今、最終調整をしています。

そういう中で、今一度、機運醸成というのも大事だと思っています、今日のこの会場装飾でも知事の「行くぞ、万博。」ポスターがあります。

「来るぞ、万博。」というのも左にありますけれども、それが右側で「行くぞ、万博。」ということで、来ていただけるということで、ありがたい話です。

また、51 ページ目、「想像以上！が万博だ。」というまた新しいキャッチフレーズを出しながら展開しています。

火星の石が展示されるという話もあったりしますが、それ以外に万博のために準備しているものや、あるいは未来社会を先取りして体験できるというもの、そういったものをどんどん展開していきます。

これから楽しいニュースがどんどん出てくる。そんな段階になってきたかなと思います。

この春ぐらいは、予算的に値上がりで大丈夫かとか、海外のパビリオンがどうかとかいう話もありましたが、もうそういう話はすべて片が付いてきています。

万博が始まると、お客さんがたくさん来てくれるので、それは間違いないと思っていますが、一方で、開幕当初、一、二ヶ月はゴールデンウィークを除いて、まだ様子見の方が多いと思います。会場の中も、まだまっすぐ目的のところに歩いていくことができる状態かなと思います。

ただ、もうそれ以降になると、混んできて、大変な状態になることが予想されます。まっすぐ歩くことができなくなり、移動にも大変だという状況が出てきます。そういう時期と暑くなる夏の時期が重なりますが、そういったところでやはり対応が必要だと思います。

また、お客様に、万博会場をもちろん見ていただきながらも、万博会場以外のところにも行っていただいて、そこで楽しんでもらうということもしっかりできたらと思っていますので、まさに知事の冒頭挨拶のとおり、万博期間中に香川にも来てもらうというような仕掛けが非常に大事だと思っています。

そういった取組みを皆様方で展開いただけるというふうに思っておりますし、また、そういったところを我々もしっかりとお支えできたらいいなと思って、様々な取組みをしています。

万博は、あと半年後開催に向けて、ラストスパートです。

様々な報道がどんどん出てくるとは思いますが、そうした中で、ぜひもっと、香川に来てもらう、あるいは香川の魅力を発信するためにどうするかというようなところを、様々な機会で開催していただきたいと思います。

万博のキャラクターなど、様々なPR素材なども提供させていただきながら一緒に万博に向けて盛り上げていきたいなと思っておりますので、その辺りもご相談いただければと思います。

## ○ 池田知事

ありがとうございました。

それでは、堺井局長の御説明に、御質問や御意見がありましたら、お願いします。まずは皮切りに私から。

大屋根リングが繋がったことは大きな話題になっていましたし、会場の売りでもあって、よく今回の万博の目玉はこれなんじゃないかという意見も出てっていると聞いています。非常に大きな万博においてのプレゼンスだと思いますが、この大きい2キロにわたる木

造の建造物ができること以外に、例えば屋上を緑化すると聞きましたが、回遊のための、ちょっとした移動手段、ゴルフカートのようなものを用意するとか、そういうリング自身の見かけ以外に、何か会場の中での機能のようなものはあるのでしょうか。

○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

リングですが、1周2キロは歩くのも大変で、涼しい場合はいいのですが、暑いときは直射日光が当たることもあり、大変なところです。

今おっしゃったようにゴルフカートみたいなものが、リングの上を走ってくれたらいいなと私も思いますが、そこは少し難しいかなと思っていて、先ほど2万人程度が入ると申し上げましたが、実は2万人で打ち止めにしないとマネージが難しいところもあり、もうそこは、リングに上ってもらってそのあたりで、会場の雰囲気を見てもらうことが目的の中心になろうかと思っています。

もちろん上から見るのは楽しいと思いますが、実際はパビリオンなど、リングの下で展開されるものを見ていただきたいと思っています。

また、夜は夜のイベントが行われる中で、これはリングの上から見るのが非常にいいものかなと思います。夜景も見られたりしますし、その辺りを楽しんでいただくということかなと思っております。

○ 池田知事

リングは上から会場内外の眺望を見るためのもののご説明をいただきました。意見・要望の部分もありますが、ぜひそういうリングの価値というか、ここから見たらイベントが良く見えるとか、これは要望でもありますが、瀬戸内海の中に会場がありますので、瀬戸内海の眺望のことだとか、そういうものをこのリングのPRにあわせてしていただいたらいいのかなと思います。多分それはこのリングの売りにもなるのではないかとしますので、よろしくお願いします。

○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

ご意見ありがとうございます。大分イメージがわきました。

○ 池田知事

ありがとうございました。続いて、港様、お願いします。

○ 香川県農業協同組合中央会 港代表理事長

スマートモビリティとして打ち出している空飛ぶクルマについて、2地点間運航の実現を目指していると聞いていて、空飛ぶクルマは万博の大きな目玉だったと思いますが、実現できるのかまだ検討中なのか、目途が立ったのか教えてもらえますでしょうか。

○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

空飛ぶクルマについては発表していますのは、4つの機体事業者による運航を考えて

いること。それで、当初は、来場のお客様を乗せての2地点飛行をチャレンジしていましたが、それは難しくなり、デモフライト等がなされるということに今変わっております。

そこは少し残念なところかもしれませんが、未来社会を見ていく中で、この空飛ぶクルマは1つの目玉でもあるので、デモフライトを見ていただき、未来社会を感じてもらうという目的は、しっかりやっていきたいなと思っているところです。

#### ○ 池田知事

ありがとうございました。続いて、長井様、お願いします。

#### ○ 四国経済連合 長井会長

今後、チケットの予約をしたとして、例えばどのような動線で見るといったパターンがあるのか。例えばこんな見方がありますよとか、どこのバスターミナルから入ってこうやっていきますよとか、ある程度具体的なイメージが予定されると良いと思う。まだいわゆるガイドブック的なものがないと思うので、そのあたりをどう考えているのか教えていただきたい。

#### ○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

ご指摘のとおり、まだチケットの予約を開始してはいますが、具体的な楽しみかたや、どういう交通アクセスあるかなどは具体的にはまだ示せていないかなとは思っています。

ガイドブックについても、今公式ガイドブックを展開する事業者を決定して、展開に向けて取り組んでおり、また、チケットを取り扱う旅行代理店等とも連携してやっていくという話をしている中で、やはり個人が会場の導線なんかが見えるような、楽しみ方が見えるような、そんなこともしていきたいと思っています。

今まだそこまで至っていないところがありますが、開幕に近づくにつれて具体的にそういったところができたらと思っています。

子供たちに教育旅行などで来ていただく場合なんかも、特に、どういうところがコースとしておすすめですよと、どこでご飯食べていただきますとか、そういったところも含めて、ご要望もいただいていますので、併せて考えるようにはしていきたいと思っています。

イベントなどは、その日によって184日間全部メニューが違います。2日同じメニューの日はありません。また、パビリオンや未来社会を体験するコーナーなど盛りだくさんであり、例えば数が少ないとモデルコースの話も簡単ですが、それもなかなか難しいぐらい数多くあるのがこの万博でして、1日来てそれで満足して帰る人はほぼいなくて、本当にもう1週間ぐらいいてもらわないと、楽しみ味わったとも言えないような万博になります。

今ご指摘いただいたことは、何らかの形で実現していきたいと思っています。公式のガイドブックなんかも、結局辞典のようになってしまうかもしれませんが、モデルコースで示すのも大変なほどです。そんな魅力満載の万博ですが、ご指摘のとおり

ことを示していかないと、イメージが湧かないということもそのとおりだと思いました。

## ○ 池田知事

ありがとうございました。それでは、議題2「万博に向けた本県の取組み・進捗」について、県から説明申し上げます。政策部長、説明をお願いします。

## ○ 尾崎政策部長

県の取組みについて説明いたします。

資料2をご覧ください。万博に向けた本県の取組みの進捗についてです。1ページ目をご覧ください。

まずは来年の4月30日から4日間、万博会場での出展を予定しております自治体催事について、説明をさせていただきます。

会場はこの資料のとおり、瀬戸内海とともに発展してきた本県が、「新しい時代へ進む未来に向けて出航する帆船」をイメージした装飾とする予定です。

現在この帆船の名前について、一般公募を行っておりまして、今後はこの公募の中から選ばれた名称を自治体催事のタイトルとしていきたいと考えております。

もう公募は終了しており、後程説明しますが、10月14日に予定しているプレイベントで、最優秀作品を発表したいと考えております。

続いて2ページ目、自治体催事での出展内容です。

レイアウトをご覧ください。1から5番まで番号をふっています。

その番号順にご説明いたします。まず①エリアの入口付近には、大型モニターを設置し、高解像度のPR動画と瀬戸内国際芸術祭2025の広報などを、この①部分で行っていききたいと考えております。

そこから奥へ少し入ったところに、両サイドに②エリアがありますが、こちらが県内市町と県によります、特産品の展示物販等を行うブースの出展です。

それから船の中心のエリアでは、盆栽、丸亀うちわ、手袋・革製品の未来の姿の展示をする予定でございます。

奥へさらに進んでいただきますと④ですが、このエリアでさぬきうどん、オリーブ畜水産物の試食提供、また一番奥の⑤ですが、こちらのエリアでは、三木町の獅子舞、滝宮の念仏踊り、まんのう町の綾子踊り、また、高校生の花いけバトルといった、伝統芸能などの披露などを展開する予定としております。

このうち③の出展の準備にあたりましては、8月に県内の子供たちと職人やクリエイターによるワークショップを行いましたので、ご紹介をさせていただきます。

3ページ目、このワークショップですが地域の子どもたちと職人やクリエイターの方々を交えながら、香川の伝統工芸 盆栽、丸亀うちわ、手袋・革製品の未来の姿や新しい姿について、アイデアを自由な発想によって出し合う活動として実施しました。

この取り組みを通じて、子どもたちの心に、万博の記憶が少しでも残り、香川県の伝統工芸などがさらに未来へとつながっていくことを目的して行い、このワークショップで子どもたちから生まれたアイデアは、これから職人とクリエイターが形にしていきま



して、完成した作品を催事の会場で展示できるように、準備を進めていきたいと考えております。

続いて4ページです。

先ほど少し触れましたが、万博開幕までおよそ半年前となります、10月14日にサンポート高松で、大阪・関西万博香川県出展プレイベントを開催することとしています。

このプレイベントでは、さぬきうどんのお振舞い、伝統芸能の披露など、市町によるブース出展、また、自治体催事の出展になぞらえた催しとして、先ほど紹介した、ワークショップと同じく、獅子舞についても考えるワークショップを実施したいと考えています。

本年4月に連携PR宣言を結んだ大阪府・大阪市万博推進局や、万博を絡めた連携を進めている兵庫県も、来県いただき、ブース出展をいただく予定としています。

機運の醸成を一層図っていききたいというふうに考えております。

なおプレイベントの開催に先立ちまして、ミヤクミヤクによるキャラバン隊が県内の各メディアを訪問し、プレイベントの開催などについて広くPRしていくこととしています。

ぜひご来場いただければと思っております。

続きまして5ページをご覧ください。

次は来年の9月の26日から4日間の出展を予定しております、テーマウィークについてです。

本県は、「地域の未来と生物多様性ウィーク」期間に出展いたしまして「アートする里海」をコンセプトに、瀬戸内海の美しさや自然との共生に係る課題とその解決に向けた、本県の取組みをアートの要素を織り込んで発信する予定としております。

6ページ目をご覧ください。出展内容として、現在調整中のスペースもありますが、エコアイランドなおしまの取組みの一環でありますエコTシャツ アート展の出張展示、また海ごみリーダーや、海ゴミラによるステージイベント、里海に関する講演や海ゴミアートを製作するワークショップ、瀬戸内海国立公園をPRするアートボード、瀬戸内国際芸術祭2025のPRを行う特設コーナーなどについて展開する予定としております。

この他にも、香川県と連携事業を行っております、東京藝術大学の協力を得られることとなりましたので、こちらについても現在海ゴミアート作品の展示などを計画することで準備を進めているところでございます。

7ページ目をご覧ください。

続いて香川県の総合PR動画についてです。

自治体催事やテーマウィークの会場において、来場者に立ちどまって見てもらえるような香川県の総合PR動画を現在制作しております。

今回制作する動画は、万博終了後も様々なイベントなどで活用をできますように、映像のみで伝わり、没入感がある、いわゆる香川県にどっぷりつかってもらえるものにしたと考えております。

コンテンツとしては、短い放送時間で瞬間的に、魅力を伝えることができる香川県ならではの特性の魅力が詰まったもので、再生時間3分、30秒、15秒のものをそれぞれ

現在制作中で、今から 30 秒ほどのサンプル動画をスクリーンに投影します。

まだまだ制作中ですので、触りだけではありましたが、万博会場では、高解像度のモニターに投影いたしまして、さらに美しく映像が流れるように、8K 動画で上映していきます。

今後、代表的な観光地の映像や伝統工芸や伝統芸能などの映像も加えて、編集していきたいと考えています。

8 ページをご覧ください。また直接、万博に来場できない方々にも、本県の観光名所や県産品などの魅力を体験してもらえるよう、デジタル上の仮想空間、メタバースや VR コンテンツについても、制作しているところです。

構築するコンテンツは現在、事業者と検討中ですが、県全域をミニチュア化したフィールドをメイン空間に加え、VR 映像を上映するシアターなども構築して、県の PR だけでなく、利用するアバター同士が長時間滞在し、交流できる仕掛けも盛り込んでいきたいと思っています。

9 ページをご覧ください。これは新しい取組みとして紹介をさせていただきたいと思っています。

国の事業で国際交流プログラムを活用した国際交流促進の取組みです。

現在相手国と調整している段階ですが、イタリア、ブラジル、ベトナム、パラオ、スペインの 5 カ国で、スペインについては丸亀市とも共同して取組みを実施することとしています。

万博参加国と本県との交流を活性化させるため、万博会期前から会議中、会期ごと様々な交流を予定しており、現在調整していますが、例えば、相手国の学生を受け入れて、文化や歴史を体験するツアーに参加いただき、本県の魅力を体験してもらったり、本県から相手国へ学生を派遣し、現地で万博や本県の PR を行うことなどを現在考えています。

10 ページ目をご覧ください。最後に、前回協議会以降、県で実施した万博の機運醸成に向けた取組みの主だったものを紹介します。

各写真の左下に番号を振っていますが、①は、今年の 4 月 9 日に吉村大阪府知事が来県し、本県の池田知事と大阪府・香川県連携 PR 宣言を取り交わしました。

これは 2025 年大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭 2025 が同時期に開催されることから、世界中から多くの方々が訪れるこの機会を通じて、両府県の魅力を国内外の方々に広く発信するため、両府県が連携して、幅広く PR していくことを宣言したものです。

②は会場にも貼っていますが、池田知事に万博ロゴマークを身につけていただき、ポスターにさせていただきまして、ありがとうございます。

このポスターは県庁舎などいろいろと掲出しております。

また、県の特設 SNS でも発信しており、好評をいただいております。

③ですが、先月 16 日に小豆島町の草壁港で行いました、県内初となる空飛ぶクルマの有人飛行実証事業の様子ですが、その場で万博ブースも設けて、PR を行いました。

当日は 500 人を超える方々に訪れていただき、万博の機運醸成を図るとともに、その空飛ぶクルマの社会受容性向上の取組みを行ったところでございます。

④と⑤は、県の万博に設けた特設ホームページとSNSです。

万博をイメージしたポップなレイアウトや、随所でのミyakumiyakの登場などにより、楽しく万博の情報や県の取組みを見ていただけるページとなるよう工夫しています。

ぜひ皆様も、見ていただければと思います。

今後も引き続き、PRや機運醸成などに取り組んでまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願ひできたらと思います。

最後になりますが、参考資料として、改訂したアクションプラン第3版をお配りしております。

本日は時間も限られており、1つ1つの事業は紹介を割愛させていただきますが、ご覧いただき、各団体による取組みの参考をとしていただければと思います。

## ○ 池田知事

ありがとうございました。

今説明があったことや、それに関連するどんなことでも結構ですので、御意見いただければと思います。

松村様、お願いします。

## ○ 一般社団法人香川経済同友会 松村代表幹事

先ほど港会長からも空飛ぶクルマのご質問がありましたが、夢洲から、サンポートまで、ちょうど120キロです。これは空飛ぶクルマが無充電で飛ぶにあたって非常に適切な距離です。

それから社会受容性、海の上を飛ぶということで社会受容性も高いということで、先ほどスカイドライブさんの実証実験を小豆島でしたということですが、今回万博では初めて商用運航はできなかったものの、デモフライトをするということで、万博と連携した万博会場と連携した空飛ぶクルマ何かPRとか機運醸成はできないものでしょうか。

## ○ 尾崎政策部長

県の方では、空飛ぶクルマは昨年度から本格的に取り組んでいて、今年初めて有人飛行を実施しました。今どのコースが一番いいのかといったことを民間事業者と一緒に検討しており、この11月にも空飛ぶクルマのイベントを予定しておりますので、その時にも万博と連携していきたいと思います。

## ○ 池田知事

ありがとうございます。続いて、中橋様、お願いします。

## ○ 日本航空株式会社高松支店 中橋高松支店長

空飛ぶクルマの話題が出ておりますので、弊社から少しご説明させていただきます。弊社は万博で有人飛行、いわゆる商用化を目指しておりました。

先ほどのご質問とあと、堺井局長からもご説明がありましたが、弊社からも9月26日

にプレスリリースしましたご案内事項が2点あります。

1点目は、日本航空として取り組んでいた空飛ぶクルマ事業を、弊社と住友商事との共同出資で設立した「株式会社 Soracle」に移管しました。

今後、万博含め、空飛ぶクルマ事業を、株式会社 Soracle で日本航空とともに取り組んでいくこととなります。

2点目は、当初、万博では Volocopter 社の機体で有人飛行を目指していましたが、調整がつかなかったため、アメリカの Archer 社の5人乗りの機体でデモフライトを目指すことになりました。

これらの空飛ぶクルマ事業については、万博後、香川県におきましても、様々協力をさせていただきたいと思っておりますので、この場をお借りして説明させていただきました。

## ○ 池田知事

空飛ぶクルマは、香川県は島があつて非常にニーズも高く、海上のルートとすれば、安全との関係もハードルが比較的高くないと思いますので、ぜひ万博後、香川での実用に向けて、県も取り組んでまいりますので、また連携、よろしくお願ひしたいと思ひます。

続いて、谷川様、お願ひします。

## ○ 香川県町村会 谷川会長

博覧会協会、また、県におかれては、大変ご努力いただいております、お礼を申し上げたいと思ひます。

この大阪・関西万博について、正直なところ、まだまだ盛り上がりが出てきてないのかなという感じがしています。

県内には8市9町あり、9町の中で、やはり万博と同時期に開催される瀬戸内国際芸術祭。こちらのPR発信の説明があり、尽力いただいていることに感謝申し上げたいと思ひます。

この機会にやはり、香川、うどん県を大きく発信して、知名度を今一度高めるといふことは、本当にいい機会だと思ひますので、ぜひ、県の方でも様々なPR動画など作っていただいておりますが、ここのところを十分に発信していただきたいなと思ひます。

今日協議をしておる皆さんには、ある程度認識をいただいていると思ひますが、やはり8市9町の首長にも、このようなことも、これから説明や発信をしていただきたいし、香川県の県民の方にも、やはり大阪・関西万博、それから瀬戸芸が同時期にあるので、誘客をやっていくことを強力にお願いをしたいと思ひています。

今PR動画を少し見せていただきましたが、これ本当にいいことだと思ひますので、強力に推進をしていただいて、この中にやはり、瀬戸内国際芸術祭が同時期に開催されるので、大きな誘客のチャンスだと思ひます。ですから、そのようなことも、なにか考えていただきたい。

これはできるのかできないのかわからないですが、大阪・関西万博の時期に、香川県

のブースで瀬戸芸のチケットの販売とか、そういうのも考えてもいいのかなと思ったりしておりますし、またPR動画等々については、委託をしているようですが、やはりマイナーなところについては、有名な YouTuber を活用するのも、多いのではないかなと思います。有名な YouTuber になると、かなり経費はかかりますが、そういうところも検討すべきかと思えます。

一方通行じゃなく、双方向というところも必要になってくるのかなと思えます。

いろいろ申し上げましたが、1点目は、瀬戸芸のチケットの販売ができないか。

もう1点は、YouTuber の活用のようなことはできないのか。大きくはそういうところ

## ○ 尾崎政策部長

香川県の誘客については、旅行商品を博覧会協会のサイトでPRできないか働きかけたりしておりますので、チケットの販売ができるかどうかについては改めてお聞きしないといわかりませんが、誘客については様々な取組みをしておりますし、この機会をぜひ活かしたいということで取り組んでいます。盛り上がりについてはまだまだとも思っておりますので、もっと盛り上げていくということで頑張りたいと思えます。YouTuber の活用は、まさに今、PR動画作成中ですので、その辺りもご意見として承って、また検討してみたいと思えます。

## ○ 池田知事

先ほどのPR動画は完成しましたら、ぜひ皆さんもいろいろなところで、積極的にお使いいただければと思えます。また、内容も確定ではないので、ご意見ありましたら、ぜひお寄せいただきたいと思えます。

続いて、濱田様、お願いします。

## ○ 日本旅行業協会香川県支部 濱田支部長

私の方からは、堺井局長の説明にあったように、資料の47ページで体験コンテンツについて、香川は22のコンテンツが登録されていますが、これは、万博ポータルサイトの商品登録サポートセンターとやりとりして登録しています。その素地として、瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービスというサイトで体験コンテンツを載せている事業者とやりとりをして、今回、万博ポータルサイト掲載しています。

万博が終わった後も、瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービス「SICS」のサイトにはそのまま掲載していくといった万博後も少し見据えて、商品の体験コンテンツを充実させていますが、万博の使い方をまず1つお聞きしたい。もう1点、万博の使い方ということで、尾崎部長からの説明があり、非常にいい取組みだと思ったのが6ページの東京藝術大学の協力。海ごみアート作品、こちらの方もぜひ万博が終わった後もどこが県内で展示するなど、そういったことをしていただければ、我々旅行業協会としても、観光地の1つになるのではないかなと思えますので、万博後を見据えたご意見を聞かせていただければと思えます。

## ○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

万博のポータルサイトに掲載しているものは、今 300 数十件ありますが、できれば 1000 件は登録してほしいと思っています。

瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービスは万博後も続いていくということですが、万博観光ポータルサイトは、企業から協賛により成り立っていますので、万博終了をもって終了することにはなっています。

今年の 4 月 4 日からスタートしていますが、掲載されたコンテンツは、万博終了後、どのようにしていくかは、現在検討中ですが、今後、日本で開催される大きなイベントがあるとしたら、例えば 2027 年には横浜で、花と緑の博覧会、花博があったりします。

こうしたものに継承できるといいなと思ったりもしていますが、いかんせん資金の問題はあります。そのあたりについては例えば、国と相談することなども有効かと思っております。

いずれにしても、今回立ち上げたこのサイトが、まず成功することが大事と思っていますので、引き続きご意見賜りたいと思いますし、ご協力をお願いしたいと思っています。

## ○ 尾崎政策部長

6 ページの東京藝術大学の関係ですが、栗島で既に取り組んでいる事業もあり、そのアイデアも生かしながら、万博での出展に協力いただくような話をいただいております。

具体的な提案をいただいて今調整中ですが、東京藝大と本県は以前から連携協定を結んでいることに加え、香川大学の方ともいろいろと連携を図っていますので、ぜひ何か効果的な成果物ができるように、検討していきたいと思っております。

## ○ 池田知事

ありがとうございます。続いて、細谷様、お願いします。

## ○全日本空輸株式会社高松支店 細谷支店長

本日の説明を伺い、おそらく全国の都道府県が同じように一生懸命取り組んでいると思う中、堺井局長はそうした状況などもよくご存知だと思いますが、その中でも、私たちとしては、この香川の出展スペースにたくさんの方に訪れていただけるような、そういう活動をこれからしていかななくてはいけないと思っています。

香川県の特徴として、民間企業の支店が非常に多いことがあります。私たちのような企業が、本社に戻った際などには、全国の社員に香川のイベントの PR ができるような、そういうツールがあれば、ぜひとも活用したいと思っておりますので、そういう特性も活用いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## ○ 池田知事

心強いご意見をありがとうございます。今のご意見を生かして、本社の方に見てもらえるような PR コンテンツをぜひ作っていきたいと思っております。

続いて、綾田様、お願いします。

○ 香川県商工会議所連合会 綾田会長

万博会場は、海に面していますので、船のアクセスができれば良いなと思っています。パンフレットを見ても、船着き場が確認できませんでしたが、いかがでしょうか。

○ 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 堺井担当局長

書かれていないのは、船着場の位置が少し切れているからです。ちょうど万博のロケーションにある夢洲の北側、正確には東側には、隣の舞洲と結ぶ白い橋があります。その橋のたもとに1ヶ所船着場ができます。また、北西の方向に向かって角になっているところにも波止場があり、これも利用可能です。この2ヶ所を使って海上アクセスを計画しています。

例えば、関西国際空港からの船、大阪市内からの船、神戸からの船、淡路島からの船などがあります。このアクセスの船は、定期便として運行する予定ですが、チャーター便もニーズがあれば対応可能です。ただ、船の運行は民間の船会社が担当するため、お客さんの集まり具合などの課題があります。旅行業者と連携してチケットが売れるようになれば、その実現も可能かと思います。運行業者やニーズ調査の結果がまだ発表されていないため、チャーター便が含まれているかどうかは確認が必要です。提案があれば対応可能かもしれません。

○ 池田知事

ありがとうございます。続いて、三矢様、お願いします。

○ 公益社団法人香川県観光協会 兼 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 三矢会長兼 理事長

観光協会も準備を進めており、J N T O（日本政府観光局）などにも働きかけています。瀬戸芸のパンフレットと万博協会の資料と一緒に配布する計画です。大使館やJ N T Oの出先機関、ジェトロの出先機関などに送る予定です。これについては許可を得ていますが、詳細は確認が必要です。

試作品もできており、動きが出るとお思いますので、その際はよろしくお願いします。瀬戸芸のチケットやアクセス情報、万博のチケットやアクセス情報などを旅行業界と連携して展開することは非常にありがたいです。パンフレットと一緒にPRするか、セット商品として提供するか、いろいろな形で展開できればと思います。

○ 池田知事

それでは引き続き、皆様方には開催までの間、ご協力ご尽力をいただければというふうに思います。

それでは、議事はここまでとさせていただきます。

○ 事務局（政策課長）

本日は大阪・関西万博に向けた、有意義なご意見ご提案をいただきました。

以上をもちまして第4回香川県大阪・関西万博推進協議会を閉会いたします。

次回の開催につきましては、事務局より改めてご案内させていただければと思っております。

本日は各委員の皆様、万博協会堺井局長様、ご多用のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございました。

※公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会による発言の内容等については、2024 年 10 月 4 日時点の情報であり、今後、変更の可能性があります。